

第 8 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	平成 31 年 3 月 22 日（金曜日） 10：00 ～ 11：30
場 所	都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 22
出席者	委 員）今井委員、大崎委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局）土渕会計管理局长、野口管理部長、村本総務課長兼公金管理課長、山下資金運用担当課長、春日井課長代理、松原課長代理、佐藤課長代理、横堀主任、有井主任、山田主事、川村主事 計 11 名
欠席者	なし
議 題	1 平成 3 1 年度公金管理計画について
要 旨	<p>(1) 会計管理局长挨拶</p> <p>(2) 第 8 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決めについて</p> <p>本会議は、東京都公金管理アドバイザー会議設置要綱第 5 条で原則公開と定めているが、委員の意見を聞いたうえで、非公開とすることができると規定している。</p> <p>議題の内容を踏まえ、委員全員が非公開にすべきとの意見を表明したことにより、今回は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題 1 「平成 3 1 年度公金管理計画について」</p> <p>事務局 ・「今後の経済動向や金融情勢の先行きに特段の注意を払いつつ、迅速かつ的確なリスク対応を行いながら、安全性を最重要視し、流動性を十分に確保した上で、柔軟かつ効率的な保管・運用を行う」という考えに基づき、「平成 3 1 年度公金管理計画」案を金融機関や運用商品の現状とともに説明。</p> <p>委 員 ・経済金融環境の認識と、それを踏まえた公金管理計画については、適正なものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画の運用にあたっては、金融情勢・経済動向を十分に踏まえ、預金先のより適切な選定や運用商品の拡充等に向け、今後も積極的な研究に取り組んでいくのがよいのではないか。 ・不透明な経済金融環境が続く現状だからこそ、迅速かつ的確なリスク対応が一層重要になっている。 <p>事務局 ・委員の意見を踏まえ、一層、公金の安全性を確保していくため、引き続き、預金先や運用商品拡充等に係る研究に取組み、また、迅速かつ的確なリスク対応が確実に行えるよう、日常的な監視についても更に徹底していく。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>